

ネットワークボード

ぱれっとインターナショナル・ジャパンのネットワークのひとつとして、何度かぱれっとつうしん誌上でも紹介や支援のお願いをしてきた、ケニアの「モヨ・チルドレン・センター」



【佐藤南帆氏（右）】

から、5月に代表の佐藤南帆氏が来日されることを受け、現地の様子を伺う活動報告会をぱれっとで企画することになりました。創始者であり前代表を務めた、故・松下照美さんの後を継いで代表に就任された佐藤さんのこの1年間の活動を、映像や画像を交えながら報告していただく予定です。ぱれっと関係者だけではなく、NGO関係者や企業の皆様など、多くの方々のご参加をお待ちしております。（編集部）

モヨ・チルドレン・センター 活動報告会

開催日時：令和5年5月2日（火）

18：00-19：30

会場：渋谷区リフレッシュ氷川 4F

多目的室B

登壇者：佐藤南帆さん

（モヨ・チルドレン・センター代表）

参加費：無料

※当日会場で寄付を集め、全額を現地NGOの支援金とします。
ご協力をお願いします。

※完全予約制 コロナ対策のため、事前の予約をお願いします。

【お問い合わせ・予約】03-5766-7302

✉palette@npo-palette.or.jp ぱれっと事務局 南山



編集後記



最近研修を受ける機会が続き、普段の業務から離れて自分の業務について振り返るきっかけとなった。中堅職員研修では、さまざまな事業所の職員が参加したため、他の事業所の話をきくことができ良い刺激になった。話していて思ったことは、悲しいことではあるが、人手が足りていないという悩みが多かったことである。周りが離職してしまうため、自分はそのまで勤続年数は長くないのに気づいたら同僚の中では自分が一番先輩・・という話もあった。人材不足が常態化される状況では、利用者にとって良いサービスを提供するにあたって弊害になるので、少しでも解消されるよう願うばかりである。

先日受けた虐待防止研修も学ぶことが多かった。講師の方の事業所では、「普段の支援で少しでもモヤモヤしたり、イライラするようなことがあったら上司などの職員に吐きだしちゃっていいよ、と伝えている」とのこと。その上で、「ただの愚痴にならないように、ではどのような支援をしたら良いのか？と次に繋げる工夫をしている」とのことだった。支援者がイライラしたり余裕がなくなったりすると虐待につながる小さな種が積み重なりやすいので、そうした意識的な働きかけはとても良い取り組みだなと感じた。そのような取り組みをするには、風通しの良い職場づくりも大事になる。「虐待では」と恐れて萎縮してしまうよりも、小さな気づきから改善に動く行動が大事だと思った。（いいやま）